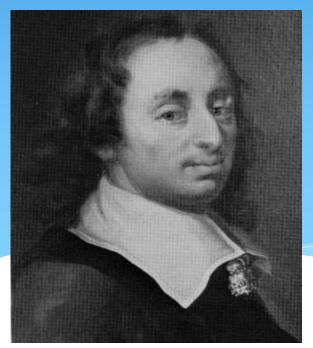
シームレスな医療情報連携のためのシステム構築の試み ~9...c.』を用いた江東病院での 医療連携~



江東病院呼吸器・感染症センター 田村 尚亮

社会医療法人江東病院の概要

スカイツリー

- ・ 病床数 286 床 (回復期リハ 30 床)
- ·平均在院日数 15 日、20 診療科
- ・臨床研修病院、東京都二次救急病院、 地域災害拠点病院 お台場

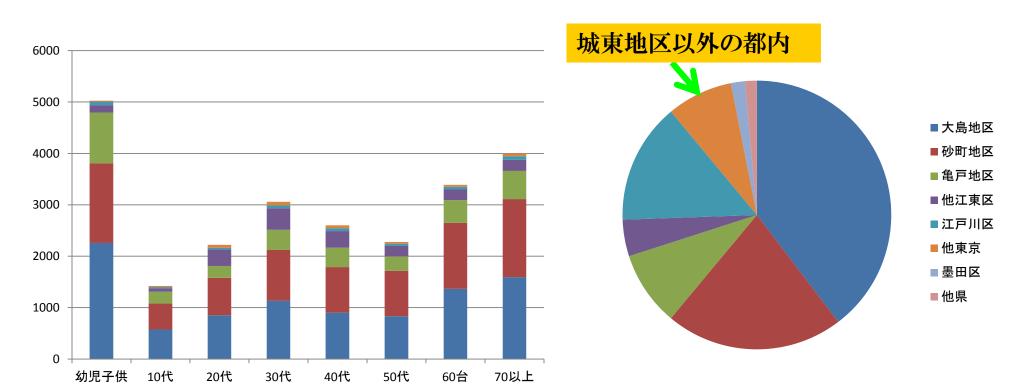




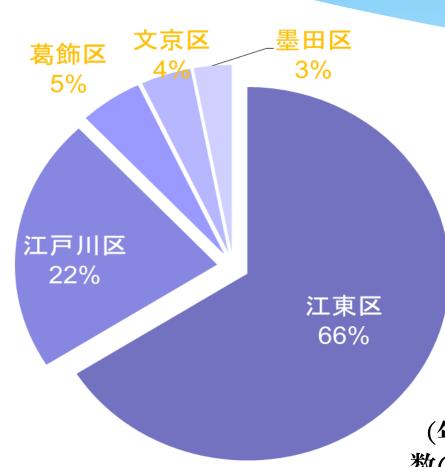


当院の外来患者の地域分布

年齢別では60歳以上:44%、10~59歳:45%、9歳以下:11% 地域別では75%が江東区で、内38%は大島地区、江戸川区:14%、その他:11%



新患症例の紹介病院・クリニックの 地域分布



地域密着型の患者層を大切にし ながらも、他地域の患者さんや医 療機関からも選択していただける 病院へと変化していきたい。

(年間30件以上の紹介患者 数のあるクリニックのみ)

都市型の医療情報連携システムは

- ・患者さんあるいは紹介医は、多数の病院の選択肢をもつ。
- ・患者さんはいつでも希望により転院が可能である。
- ・大学病院を含めた多数の病院で、特殊な疾患を含めた専門的な治療が可能である。

な治療が可能である 医療情報連携システムとは 全く異なる意義を持つ

都市部において患者さんやホームドクターから選択されるためには、1)各診療科における医療の質の向上、2)病院全体の良質な医療サービスの提供とともに、3)ホームドクターとのシームレスで緊密な医療情報連携の構築が3本の柱となる。これらは患者さん本位の医療を行う上でのキーともなる。

電子カルテと部門システムの概略構成(一部抜粋)

臨床検査システム 採血管準備システム

放射線情報システム (RIS)

放射線画像システム

医療情報連携システム

診療番号表示機

再来受付機

調剤支援システム

服薬支援システム

電子カルテ

/MIDAIC /DV\

リハビリテーション システム

(PAC 平成25年9月に、新電子カルテシステムを稼働開始した。どの

眼科画像管理: システムにも一長一短があり、誰もが完ぺきに満足できるシステムに変更することは現状では困難である。

管理システム

内視鏡シス カプセル内視鏡 エレンした。

証システム

心電図システム

透析システム

輸血システム

健康診断システム

达事ン人ノム

医事会計システム (IBARS)

会計番号表示機

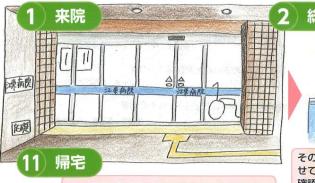
DPCナビ

自動精算機

医療安全管理システム

グループウェア システム

ひと目でわかる ・外来診療ロードマップ



調剤薬局(院外)でお薬をもらってください。

総合案内 診療のご相談とご案内の窓口



その月最初の来院時に保険証の確認をさ せていただきます。(近日中に自動保険証 確認機の導入を予定しています。

습

予約外受付

ください。診察順番をメ ロディと振動、光でお知 らせするので便利ですよ。 予約外受付 カルテを作り

お祈り下さい

ここで「本日の診療 予定票」、「問診票」 など受け取ります。 初診のかたは紹介 状やCDなどもここ でご提示ください。

予約のある 再診の方は 直接こちらへ!

ポケベルはここでお借り

患者さんの声

- ■診察後、すぐに会計まで行 けるので早くなった。
- ■本日の診療予定票であらか じめやることがわかって受 診しやすくなった。
- ■保険証を最初にチェックし

再来受付



診療券を再来受付機に入れると、プリンター から「本日の診療予定票」が出て来ます。 必ずクリアファイルに入れてご持参下さい。 診察の案内は受診番号で行います。

各科問診コーナー(各科毎にあります)



382

救急医療体制の充実と、専門的診療の拡大 をはかった。さらに外来受診時の導線の簡略

化と事務処理のスピードアップを実現した。

が、その分患者さんは診療 後の待ち時間がかからなく

*1:診療情報提供書や予約のある方もこの受診方法になります。

: 前回の診察の際に診察前に採血/採尿、放射線、超音波、生理検査などの検査を指示された方。

○: 前回の診察の際に診察前に採血/採尿、放射線、超盲波、生生快ま 注:診療科により受付方法が異なりますので、係員にお問合せください。

初診の方や久しぶり の診察の方はこちら で症状や受診の理由 などを看護師があら かじめおききします。

お支払も自動精算機でスムーズです。

クレジットカードでお支払を希望される方はお申し出ください。 診療明細書をお忘れずに!

会計受付 会計受付 診察が終わったら すぐここへ! リアファイルに入った全て の伝票を出してください。

診察と検査

診察後の検査は「検査・処置案内票 の指示に従ってください



院外処方せん、次回の予約票は診察終了後 医師からお受け取り下さい。その他の書類や 注射がある方は看護師が後ほど対応します。



検査



ずこちらへ。(レントゲン、心電図、呼吸機能検査 なども同じです。)

ご注意: このロードマップは一般的な診療手順です。診療手順が異なる場合もあります。詳細は係員にご確認下さい。



当院で開発する医療情報連携システムの 基本コンセプト

紹介医に対して

- 1. 哲 2. V の情 開発コストは安いことが大前提! 既存の連携システムは導入費が高額であり、必 ずしも当院が目指す病診連携システムとは言え
- 3. + なかった。
- 4. 端末に(キャッシュを含め)履歴が残らず、情報漏えいの 危険性がない。
- 5. 閲覧スピードが速い。
- 6. クリニックに費用の負担をかけない。

当院で開発する医療情報連携システムの基本コンセプト

紹介医に対して

- 1. 操作が簡単である。
- 2. いつでも、どこでもパソコンに規定されずに紹介患者さんの情報(画像・検査所見・治療薬・温度板)を参照できる。
- 3. セキュリティがきわめて高い(二重のID/パスワード)。
- 4. 端末に(キャッシュを含め)履歴が残らず、情報漏えいの危険性がない。
- 5. 閲覧スピードが速い。
- 6. クリニックに費用の負担をかけない。

江東病院医療情報連携システム



Pas Cal

Portable Area network System for connecting Clinicians And Link hospitals

SaaS型 SASTIK®サービス (SASTIK OF 15)



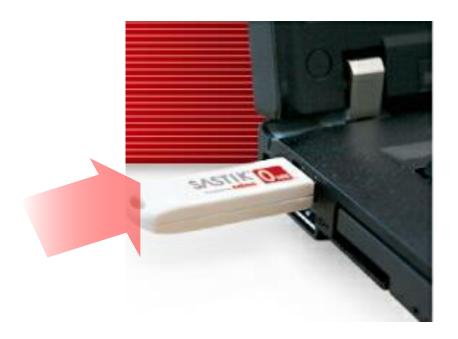
外出先や自宅のPCに SASTIK' &

挿すだけで

「メールソフト」はもちろん 「社内業務アプリケーション も操作できて

操作履歴などは、 SASTIK' &

どこでもオフィス 🏲 抜くだけで安全に消去



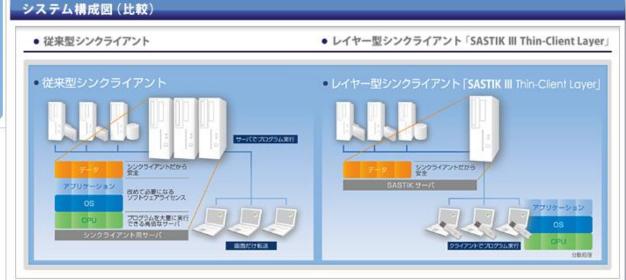




SASTIKによるシンクライアントレイヤー の構築



SASTIK キーを装着したパソコン上に一時的にシンクライアントレイヤーが仮想的に構築され、そのレイヤー上で作業を行い、使用後はシンクライアントレイヤーごと消去される。



SASTIKの機能と特長



いつでも・どこでも: インターネット接続されたWindows PCに、SASTIKキーを挿すだけで、いつでもどこでも

診療情報アプリケーションが利用でき、抜くだけでPCの使用証跡を自動消去。



安全性

情報漏えい対策:利用したPC環境に、証跡・情報を残さず利用可能。 印刷機能、スクリーンショット、コピー&

ペーストなどを抑止。SASTIKキーは記憶容量がOMBで個人情報などのデータを保有しない。

暗号化・認証:クライアントとなるWindows PCとSASTIKサーバ間の通信はSSLで暗号化。

SASTIKキーのデバイス識別子、使用者識別子、パスワードで認証。



経済性

月額コスト:月額サービス利用料 700円/1ID

ファイルダウンロード抑止

暗号化通信

スクリーンショット抑止

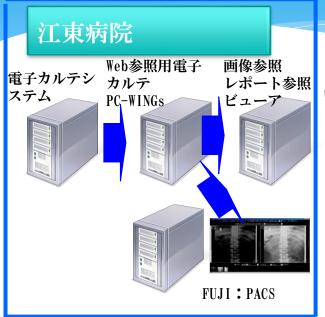
印刷抑止

利用痕跡·証跡自動消去

無操作時自動切断

サスティックを用いたアクセス







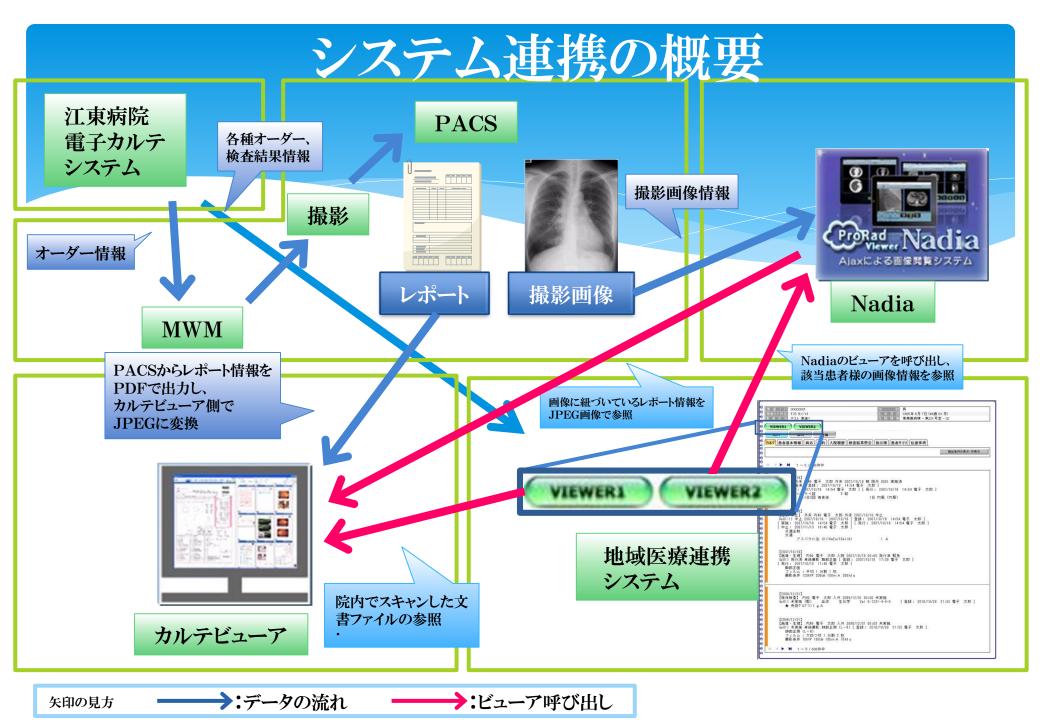


パブリックスペース (国内・海外)



診察室





ご紹介患者さんの診療情報参照の手順



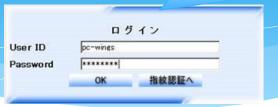
1. SASTIK(USB型の鍵)をパソコンに挿入します。



2. 認証ID・パスワードを入力し、 連携ネットワークに接続する。

レポート

3. 再度、ID・パスワードを入力し、 連携用電子カルテビューアにアクセスする。



▲PC-WInGsログイン画面



▼患者一覧



4. ただちにご紹介いただいた 患者さんの一覧が表示されます。

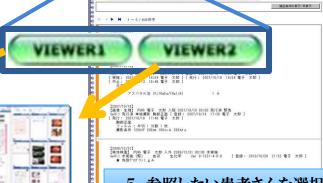
6. CT、MRIなどの画像を参照する際は、連携ボタン(VIEWER)を 選択して、画像検査結果及び、レポート情報を確認することが できます。一部の文書フィルも閲覧できます。



▲画像検査レポート



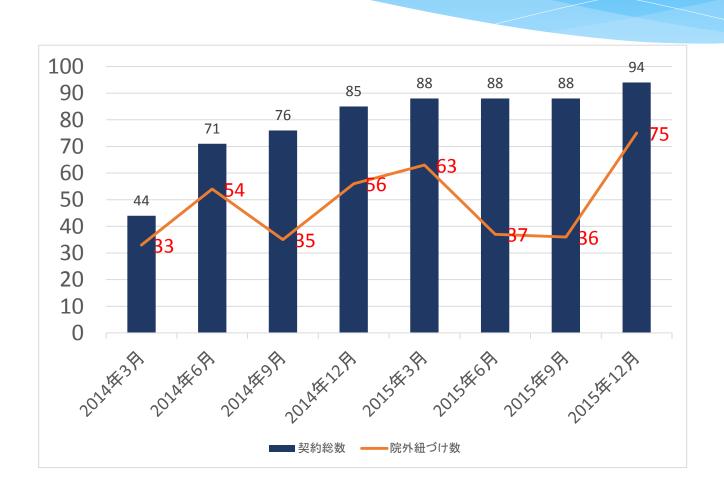
▲画像検査(画像照会)



5. 参照したい患者さんを選択(クリック)すると、患者基本情報、 オーダ情報、検査結果などが表示されます。

▼ビューア画面

PasCal 院外契約数と紐付症例数の推移



常勤医師によるカルテ閲覧数の推移



Pas Cal の使用現況

(平成25年12月~27年12月)

	利用数	紐付患者数	閲覧数
院内 常勤医	47台	全症例	1846
院外医療 機関	94台	401名	444
合計	141台	401名	2290

今後の展開としては、患者さん自身またはご家族に一定の条件の下に、『aucalを貸与し、クリニックまたは調剤薬局などで情報を参照していただくことも検討しています。





午後 (11:30別絵) 患者様へ

417時日無経了

診療時間

予約外来 8

人工透析

午前 (8:00開始)

地元のホームドクターとして 患者様からここで治療を受けて 良かったと言っていただける様な 優しく活気のあるケリニックを 目指しています。



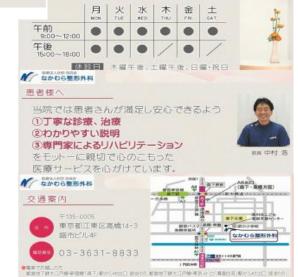
交通案内



- TACHIBANA CINIC ■JR施戸駅よりタクシー3分
- 東武線束あずま駅前
- ※体調の悪い方には 送迎車の用意がございます。

TEL.03-3616-8216

〒131-0043 東京都墨田区立花 1-23-3-101



■第172 10年(株円・豊茂水原常語) 「高橋」学習的より。位立10



〒136-0072 東京都江東区大島5-32-5

水

いのうえ整形外科

14:00~

17:00

院長 成高 信一

大阪小児科医院

現在までに実現できたこと

- ・0メモリー型USBメモリー(SASTIK)をログインキーとする⑦ωCωl では、情報端末には使用後にキャッシュを含め、履歴が残らないため高いセキュリティが確保できた。また専用ソフトをインストールする必要がないため、診療情報を任意のインターネット端末で閲覧できる。
- ・2015年12月末時点で94か所の診療所・病院・老人施設で利用が始まった。
- ・当院常勤医師も常時50名前後が利用しており、自宅や出張先で患者情報 を院内の電子カルテと同様に確認できる。
- 当直医が急患を診療する際は、上級医が院外で患者情報を確認してアドバイスすることが可能となった。
- ・現在は平均約100例/月の利用数である。

問題点

- ・⑦ふCol はインターネットエクスプローラー(IE)に依存するシステムであるため、WindowsやIEのバージョンアップに影響を受ける。複数のベンダーが関与するシステムであるため、バージョンアップ時に必ずしも迅速に対応しきれていない。
- ・使用法は簡便であり、最初に使用法の講習はしているが、頻回にご利用いただける施設(医師)とそうでない施設(医師)とに分かれる。
- ・医師の診療記録は、現時点では外部医師には参照いただけない(院内 常勤医は参照可能)。
- ・紐付けして情報公開するためには、事前に患者さんの同意文書を必要とするが、面倒だとする医師が多い。
- ・患者さん自身あるいはご家族にご利用いただく上での問題点が解決でない(特にセキュリティをどのように確保するか)。

今後の展開への期待

私たちが構築した医療情報連携システムの。Calは、紹介医のみならず、常勤医が院外で患者の状態把握に利用するという、新しいスタイルの利用法に今後のより広い活用の広がりが期待できるシステムであることに特徴がある。こうした利用は、医師にとって極めて有用で、緊急対応などでの診療形態を劇的に変化させる可能性を秘めている。

『as Cal は高いセキュリティを保ちながら、簡便で低コストで運用できる医療情報連携システムである。医師のみならず今後は患者さん自身が持参することで、院外の様々な施設において、特定の医療情報の共有する利便性を提供しうる可能性を持つシステムであると考えられた。

